

名洗港港湾計画の改訂について 地方港湾審議会資料



令和4年 1月19日
千葉県 県土整備部 港湾課

R3.1撮影

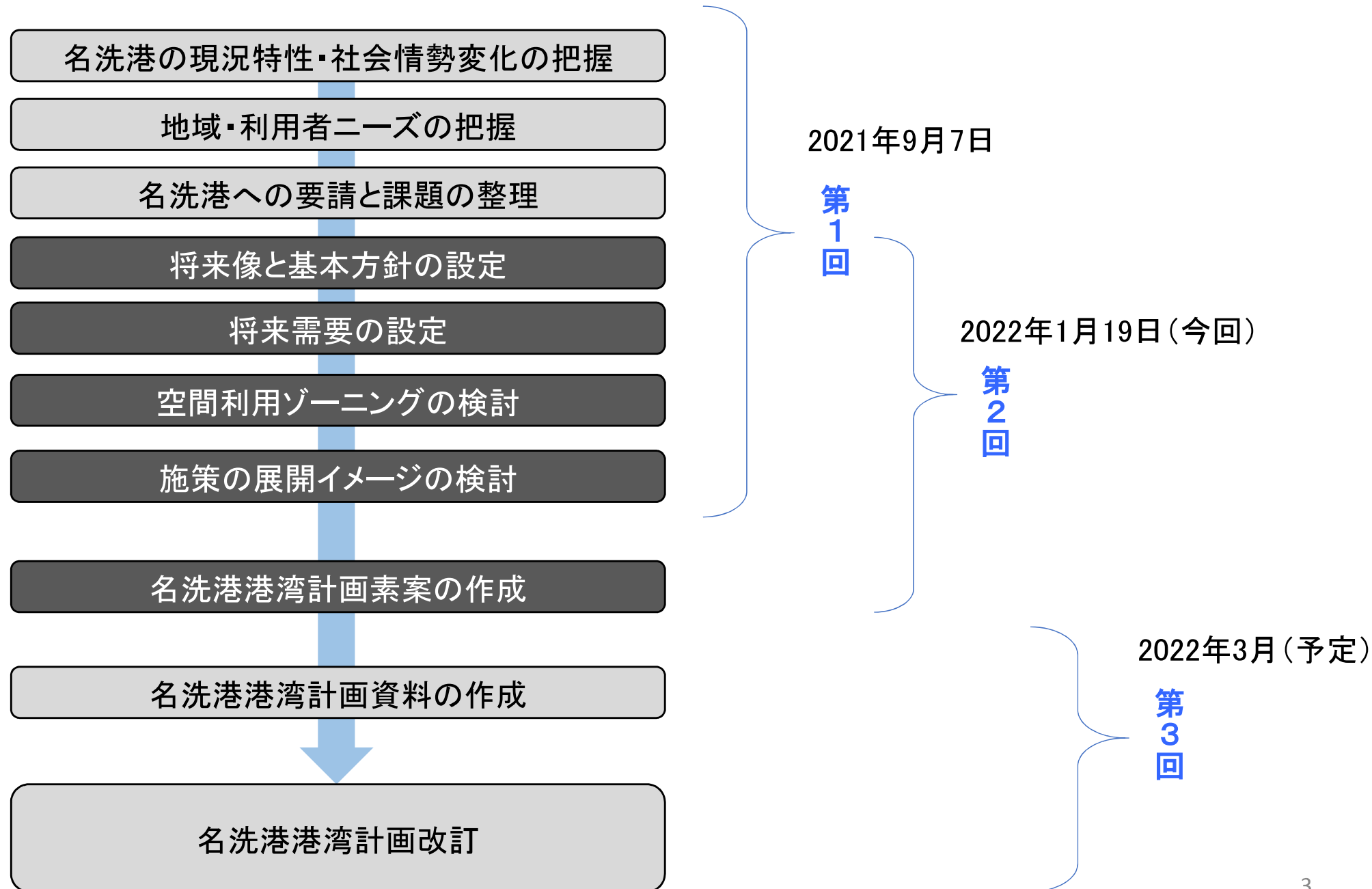
1. 前回審議会における主要意見	2
2. スケジュール	3
3. 港湾計画の基本方針	4
4. 施策の展開イメージ	6
5 名洗港港湾計画素案	19
6 港湾の能力	31

1 . 前回審議会における主要意見（令和3年9月7日）

No.	主要意見	対応方針（案）
1	洋上風力発電事業が開始することで、誘発的に観光需要が増加し、港としての活性化につながることを期待される。	洋上風力発電を新たな観光資源として取り入れられるよう、犬岩周辺には観光客の集客機能を備えた洋上風力発電を望む緑地を位置づける。
2	名洗港周辺の豊かな自然景観は、風車の建設により大きく変わることが予想される。地域資源である海の景観に配慮した美しい港づくりが重要である。	豊かな自然環境(屏風ヶ浦)を残しつつ、新たな観光資源(洋上の風車)が調和する景観形成を目指し、屏風ヶ浦沿いの遊歩道を「良好な景観を形成する区域」に位置づける。
3	海岸沿いの遊歩道や養浜が整備されているエリアでは、多くの視点を有するため、景観形成を行うことで地域活性化の鍵になる。	屏風ヶ浦沿いの遊歩道や養浜されたエリアを「良好な景観を形成する区域」に位置づけ、洋上の風車を望む眺望地点を形成する。
4	千葉県のパ洋洋沿岸が大規模なウインドファームとなる可能性があり、それらの受け皿としての名洗港となるよう考慮して、港湾計画の検討してもらいたい。	銚子市沖に続き将来的に太平洋沿岸の他の海域においても促進区域の指定が期待されることから、3事業者が名洗港を建設補助やメンテナンス拠点として利用できる規模の施設配置を立案した。
5	防波堤整備を進めることで、港外に漂砂が堆積する可能性があるため、漁業関係者の活動への影響にも配慮したうえで、計画を進めていく必要がある。	今回計画の外郭施設の配置で海浜変形予測シミュレーションを実施し、新たな防波堤整備による港外側の堆積を促進する傾向は確認されなかった。
6	周辺地域が活性化することで、間接的な影響(プレジャーボートや釣り客の増加)も生じるため、これらの影響にも配慮しながら検討を進める必要がある。	海洋性レクリエーションの拠点を運営していくうえで、利用可能エリアを明確にするなどの安全対策を実施していく。

2. スケジュール

【地方港湾審議会における検討内容】



3. 港湾計画の基本方針

3. 1. 将来像と基本方針

名洗港のキャッチフレーズ

風からエネルギーに、それを地域のちからに「名洗港」

名洗港の将来像と基本方針

今回計画における将来像(コンセプト)

目標年次

令和10年代半ば

物流
産業

洋上風力・地域産業
を支える名洗港

観光
交流
アメニティ

自然と風車が
調和する名洗港

エコツーリズムと海洋レクを
体験できる名洗港

環境

小型船舶が
避難可能な名洗港

防災

基本方針

物流
・
産業

- ①洋上風力発電を支える港湾への機能転換
- ②洋上風力発電の推進による雇用創出・地域活性化への貢献
- ③背後地域の産業の付加価値を高める海上輸送拠点の確立

観光
・
交流
アメニティ

- ④風車景観とジオパークを融合したエコツーリズム拠点の形成
- ⑤海洋レクリエーション活性化に資する銚子マリーナの拠点化

環境

- ⑥「風車が映える」自然景観と風車景観が調和した眺望点の創出
- ⑦カーボンニュートラル促進への貢献

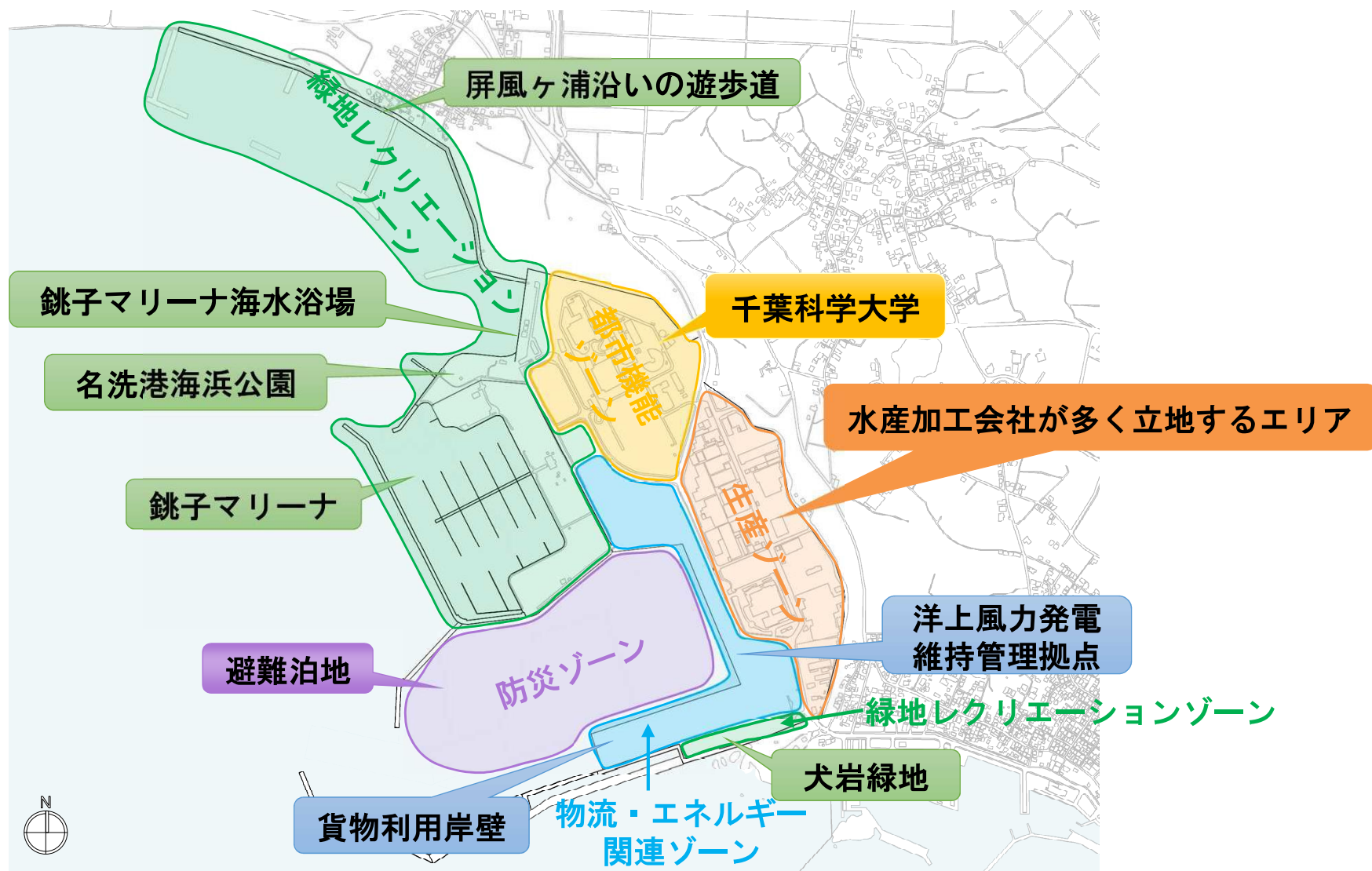
防災

- ⑧避泊需要に対応した小型船舶の避難泊地の確保
- ⑨エネルギー代替性向上への貢献

3. 港湾計画の基本方針

3. 2. 港湾空間利用ゾーニング

- 洋上風力発電関連施設および一般貨物が利用するエリアは、「物流・エネルギー関連ゾーン」に位置づける。
- その他のエリアは、陸域・水域の将来利用想定を踏まえ、「緑地レクリエーションゾーン」、「都市機能ゾーン」、「生産ゾーン」、「防災ゾーン」に位置付ける。
- 背後圏との広域連携の視点における名洗港に求められる機能については、「銚子市都市計画マスタープラン」や「銚子市総合計画」に位置付けるなど、地元市と連携していくものとする。



4. 施策の展開イメージ

名洗港港湾計画の基本方針

物流・産業

- ① 洋上風力発電を支える港湾への機能転換
- ② 洋上風力発電の推進による雇用創出・地域活性化への貢献
- ③ 背後地域の産業の付加価値を高める海上輸送拠点の確立

観光・交流・アメニティ

- ④ 風車景観とジオパークを融合したエコツーリズム拠点の形成
- ⑤ 海洋レクリエーション活性化に資する銚子マリーナの拠点化

環境

- ⑥ 「風車が映える」自然景観と風車景観が調和した眺望点の創出
- ⑦ カーボンニュートラル促進への貢献

防災

- ⑧ 避泊需要に対応した小型船舶の避難泊地の確保
- ⑨ エネルギー代替性向上への貢献

名洗港港湾計画の主要施策

【施策1】 洋上風力発電設備の建設補助・維持管理の形成

【施策2】 豊かな自然と風車を眺望する緑地空間の形成

【施策3】 港内静穏性確保と埋没対策を兼ねた防波堤整備

【施策4】 銚子マリーナの利用促進

【施策5】 一般貨物向け公共埠頭の確保

4. 施策の展開イメージ

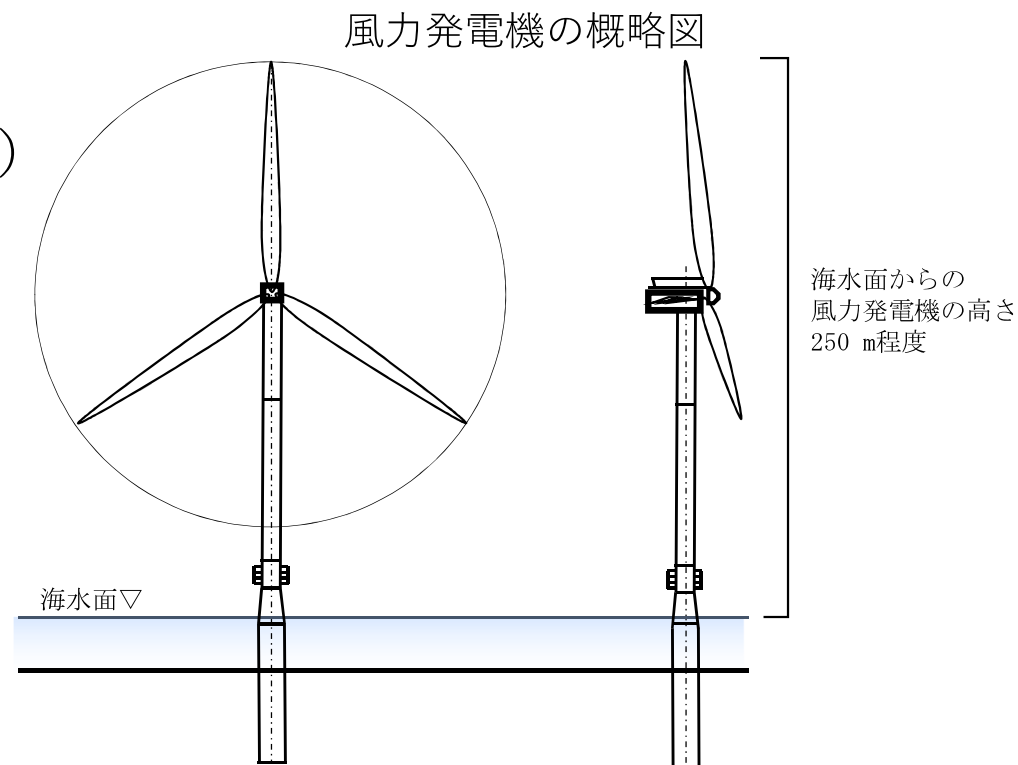
【施策1】洋上風力発電設備の建設補助・維持管理拠点の形成

(1) 銚子市沖促進区域の事業概要

- 銚子市沖促進区域では、2021年12月24日に発電事業者が選定され、2022年より洋上風力発電事業の実施に向けて本格的に調査・設計・工事が進められていくことが想定される。
- 名洗港における港湾施設整備についても、洋上風力発電の事業スケジュールに合わせて段階的に実施していく必要がある。

【事業概要】

- ・ 事業者
千葉銚子オフショアウインド（コンソーシアム）
- ・ 構成員
三菱商事エナジーソリューションズ株式会社、
三菱商事株式会社、株式会社シーテック
- ・ 発電設備出力
39.06万kW（1.26万kW×31基）
- ・ 風車
GE製
- ・ 事業スケジュール
2027年1月から建設補助港として利用予定



年度	2021	~2024	2025	2026	2027	2028	2029	~2052
事業スケジュール	▼事業者選定(2021/12)		港湾利用開始(2027/1)▼			▼運転開始予定(2028/9)		撤去▼
港湾利用								

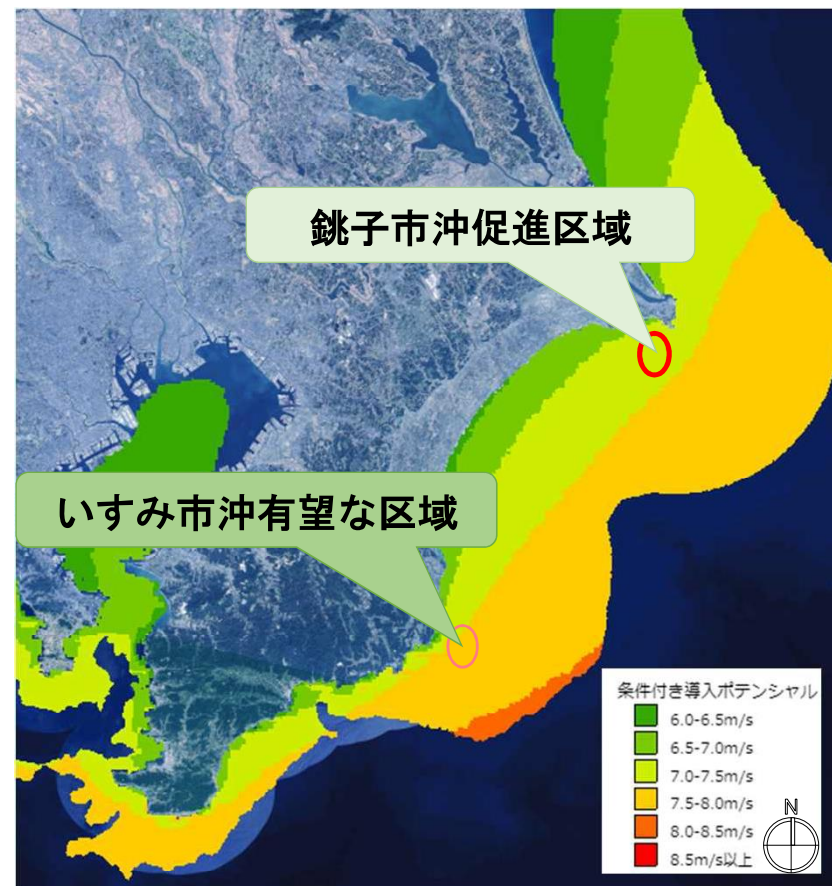
4. 施策の展開イメージ

【施策1】洋上風力発電設備の建設補助・維持管理拠点の形成

(2) 千葉県太平洋側沖の洋上風力発電事業の将来展望

- 銚子市沖洋上風力発電事業の開始に伴い、名洗港が建設補助および維持管理拠点として利用される。
- 本県の太平洋沿岸の沖合は、風況に優れており、洋上風力発電の導入可能性が高い地域である。
- 銚子市沖促進区域指定に続き、いすみ市沖が有望な区域に指定されており、太平洋沿岸の他の海域においても区域指定が期待される。

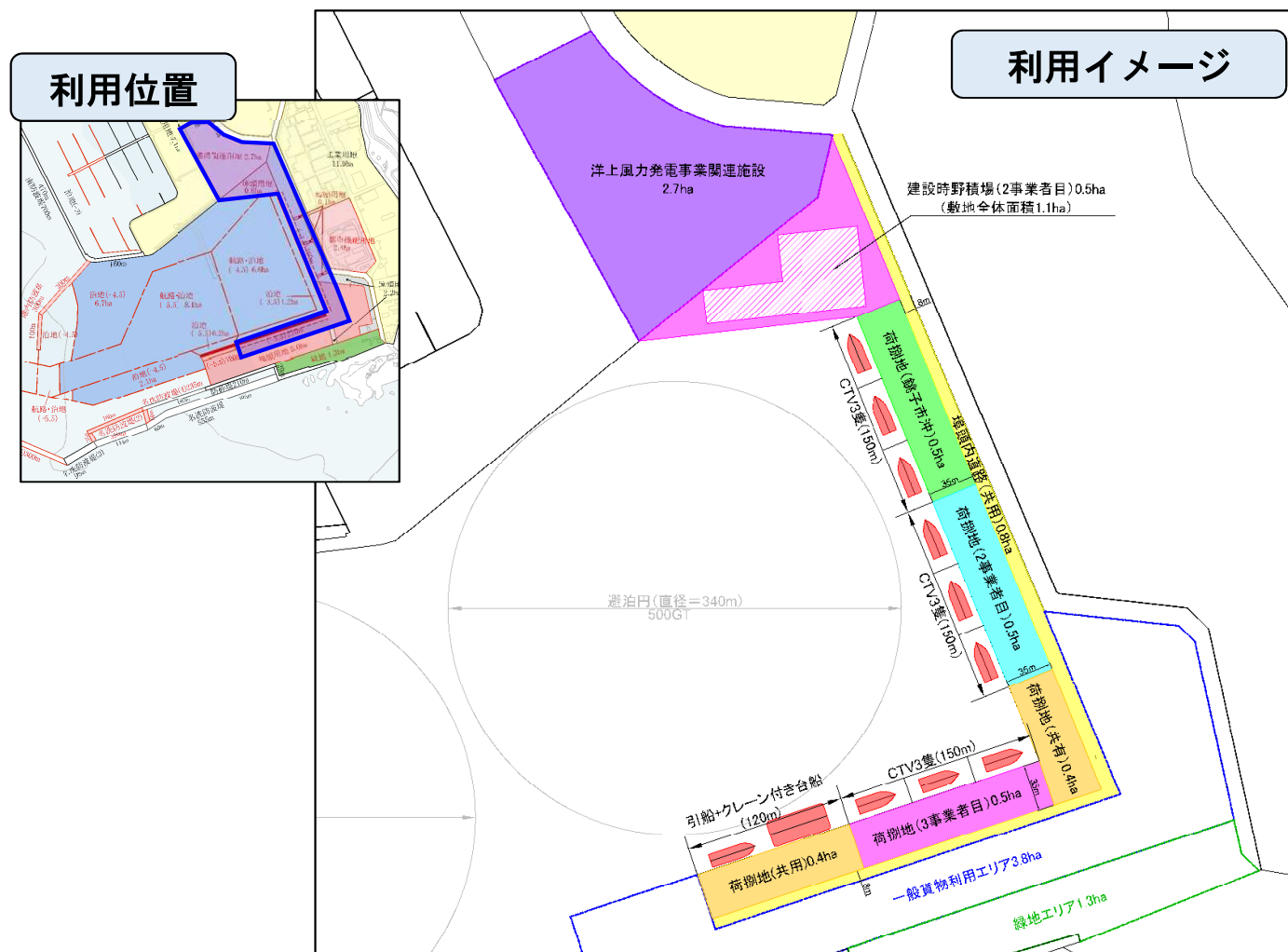
銚子市沖促進区域



※資料：海洋状況表示システム (<https://www.msil.go.jp/>)
を加工して作成

(3) 洋上風力発電事業に係る名洗港の利用イメージ

- 喫緊に迫る洋上風力発電事業に関する利用に対しては、既存の5.5m岸壁と背後用地の計画を一部変更することで既存ストックを有効活用しつつ、不足する用地について土地造成を行うことで対応する計画とする。
- 係留施設は、人員輸送船を3事業者の合計9隻分、クレーン付き台船・引船を各1隻分の係留スペースを確保する方針として、物揚場(-3.5m)630mを確保する計画とした。
- 埠頭用地としては、係留施設背後の荷捌地および野積場(建設補助時)、埠頭内道路の合計で4.2haを確保する計画とした。



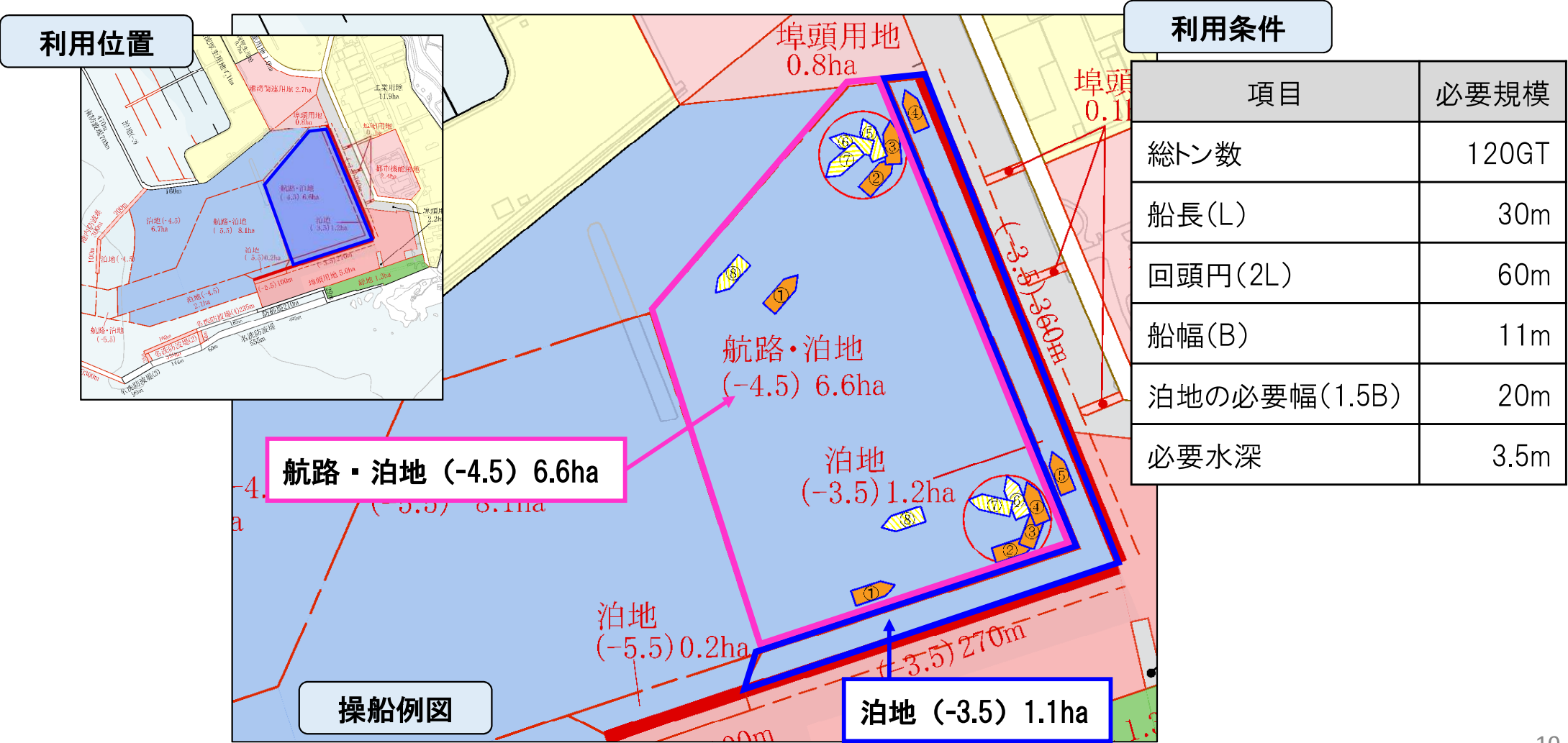
配置条件		
施設区分	用途	必要規模
埠頭用地	荷捌地	2.3 ha
	野積場(建設補助時)	1.1 ha
	埠頭内道路等	0.8 ha
係留施設	人員輸送船 (必要水深:-3.5m)	9 隻 (450m)
	クレーン付き台船 (必要水深:-3.5m)	1 隻 (70m)
	引船 (必要水深:-3.5m)	1 隻 (50m)
	隅角部	(60m)

4. 施策の展開イメージ

【施策1】 洋上風力発電設備の建設補助・維持管理拠点の形成

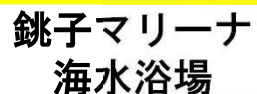
(4) 洋上風力発電の船舶による水域利用イメージ

- 洋上風力発電に使用する船舶の航路・泊地および泊地を確保するため、水域施設計画を変更する。
- 航路・泊地については、人員輸送船(CTV)の航行・回頭に使用する水域6.6haを航路・泊地として位置づける。なお、CTVの航行に必要な水深は3.5mであるが、避泊水域の対象船舶の必要水深から水深は4.5mに設定している。
- 泊地については、CTVやその他作業船の係留する水域1.1haを泊地として位置づける。



(1) 屏風ヶ浦遊歩道と名洗海浜公園の一体的な緑地形成

- 名洗港の北西側エリアには、名洗港海浜公園と銚子マリーナ海水浴場、屏風ヶ浦沿いの遊歩道、銚子海洋研究所の「世界一小さな水族館」などの親水空間として利用されている観光資源が立地している。
- これらを有機的に接続することで、海洋性レクリエーションの機能を高めつつ、自然環境と風車が調和した景観の眺望地点が連続的に形成され、銚子市の新たな観光資源として活用される計画とする。



連続した緑地の形成による 一体的な利用

緑地1.61

都市機能用地
11.5h

臨港公路3
一分機能

臨港
交

龍用池

11

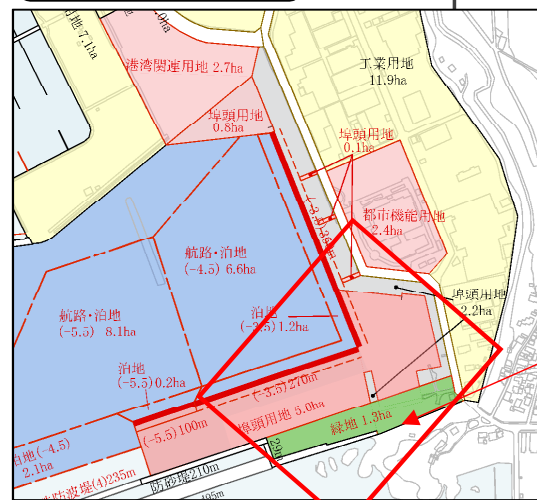
4. 施策の展開イメージ

【施策2】豊かな自然と風車を眺望する緑地空間の形成

(2) 犬岩緑地の新規計画

- 名洗港の南東側エリアに存在する「犬岩」は、日本ジオパークに認定された「銚子ジオパーク」の名所のひとつであり、自然環境を活用した観光名所としてのポテンシャルを有している。
- 犬岩の周辺エリアでは、将来的に洋上の風車の眺望地点として活用が期待されることから、犬岩と風車の景観が調和した景観を眺めることができる緑地を新たに計画する。
- 良好な眺望点の確保、貨物利用エリアとの棲み分けの観点から、緑地は高台に整備するものとする。

今回計画



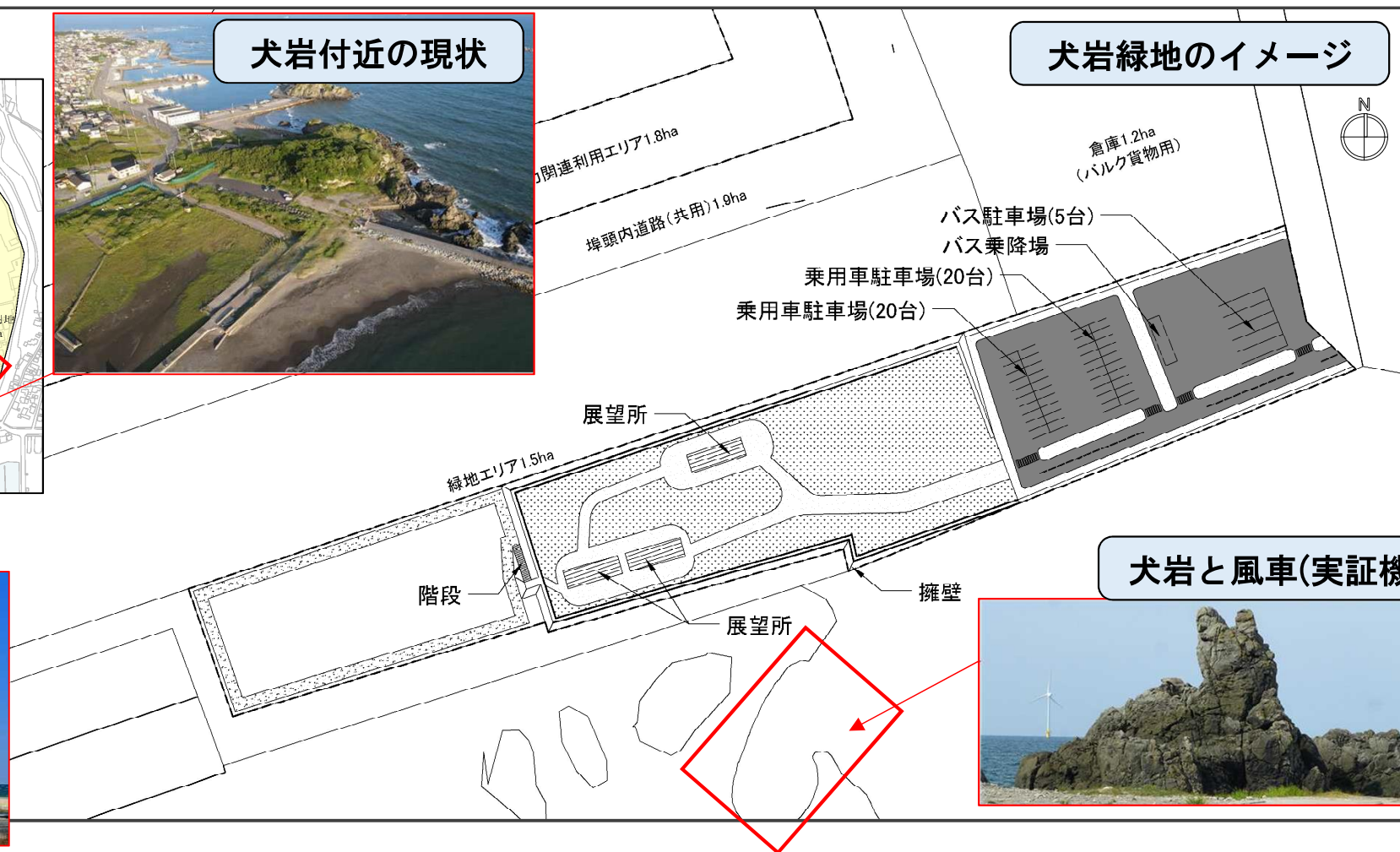
犬岩と富士山



犬岩付近の現状



犬岩緑地のイメージ



犬岩と風車(実証機)

